

平成 29 年度「立川市民と議会との意見交換会」振り返り

平成 29 年 7 月 18 日（火）
本 会 議 終 了 後
於 委 員 会 室

1 進行について

- ・ 写真役だったが、グループに入ってしまうと撮影はできなかった。この役割は必要なのか
- ・ 小グループに分かれたので、市民との距離が近くてよかった
- ・ キャッチボールのように話せたので、全体的によかった
- ・ 調布市の意見交換会に行った。グリーンホールという大きな会場で開催し、常任委員会ごとに報告をしていた。その後、興味のある委員会に分かれて意見交換会を開催していたが、このような方法もあるのでは
- ・ 議員に対して、厳しいご意見をお持ちの方もいた。万が一、市民とトラブルになったとき毅然とした態度をとるべきで、そのような場合の統一した対応を考えておく必要がある
- ・ もっとテーマを細分化してやった方がよい。意見を言われた方に対応して、テーマを広げて深く議論を進めていく。また、どういった方が参加されるのかわからないので、進行役のスキルも必要。
- ・ 会場の中で、隣のグループの声が近かった。グループごとに会場を用意して、分かれてもいいのでは

2 参加者について、広報・周知について

- ・ もっと参加者を増やすために、自由参加と無作為抽出の両方で
- ・ 自由参加でよい
- ・ 議員がチラシを 100 枚配布するのはよい取り組みだった。会場については、もっと地域に出ていく、地域の会館や学習館で開催するなどはどうか
- ・ 周知方法は、総じてよかった。昨年より、参加者も多くなった
- ・ 公共施設にチラシを置いたのも、市民の方の目に触れたのでよかった
- ・ 初めて参加された一般市民の方もいたし、もともと行政・議会にご意見をお持ちでお越しの方もいた。関心は高いが、まだまだ参加するには敷居が高い感じはある

3 全体の感想／今後の課題

- ・ 立川市の防災計画の周知が不足していると感じた。行政側に参加してもらい、簡単な講義・説明をしてもらうなど、いろいろ試してもよい。防災委員会がなぜないのかとのご意見があった
- ・ テーマ設定が重要で、深い議論につながる
- ・ 市議会だよりに意見交換会について掲載するのか→掲載する
- ・ 広報を見て参加の方だったので、逆に言うと広報を見損ねていたら参加いただけなかったことになる。意見交換会の開催回数増、定期的な開催等を求められた
- ・ 意見交換会について、何件くらい問い合わせがあったのか→電話で十件ほどあった
- ・ 常任委員会ごとの開催でもよいのでは

4 意見のとりまとめ

◆議会からの政策提案として取り上げられるものはないか

- ・ 議会ホームページにアップしているが、それで終わりではなく、もっと進めていくべき。会津若松市の政策会議のようにやってはどうか。プロジェクトチームを作るなど
- ・ 立川駅の南口エリアに救急車が到着するのに15分かかるので、JR立川駅に拠点をもう一つ作るのはどうかという意見があった。こういったことを取り上げていくのはどうか
- ・ 参加していない日や違うグループの意見について、どれがよいと、この場で意見を出すことは難しい
- ・ 会派でまとめて、議運や代表者で話し合っていくのではどうか

とりまとめについて

開催して終わりではなくて、議会としてまとめていくのが大切。

まずは会派で政策提案として取り上げたいものをまとめ、議会運営委員会協議会で話し合っていく。議運協を8月2日の議員研修会の後に開催するので、それまでに会派でまとめる。